

1	(1)	36	(2)	199	(3)	101	(4)	111
	(5)	6	(6)	115	(7)	40 (cm)	(8)	302 (L)
	(9)	5 (日)	(10)	42 (m)	(11)	18 (cm)	(12)	206 (ページ)

2	(1)	16 cm	(2)	72 cm
---	-----	-------	-----	-------

3	(1)	400 円	(2)	8 つ
---	-----	-------	-----	-----

4	(1)	5 (時)	(2)	15 (分)
---	-----	-------	-----	--------

5	(1)	13 才	(2)	7 才
---	-----	------	-----	-----

6	(1)	18 こ	(2)	31 こ
---	-----	------	-----	------

1 (4)  $113 + 53 - 55 = 111$   
2へる

(5)  $104 - 98 = 6$

(6)  $302 - 187 = 115$

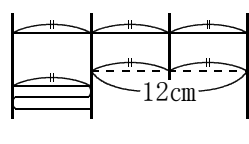
(7)  $100\text{mm} = 10\text{cm}$      $1\text{m} = 100\text{cm}$   
 $10 + 100 - 70 = 40$  (cm)

(8)  $3000\text{dL} = 300\text{L}$   
 $300 + 2 = 302$  (L)

(9)  $3\text{週間} = 7 \times 3 = 21$  (日)  
 $21 - 16 = 5$  (日)

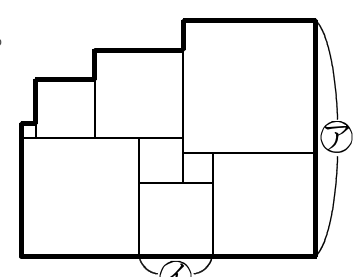
(10) 6mの間の数は、 $8 - 1 = 7$  (つ)ある。  
 $6 \times 7 = 42$  (m)

(11) 右の図のようにまとめられる。  
 $12 = 6 \times 2$   
 よって、 $6 \times 3 = 18$  (cm)



(12)  $234 + 126 = 360$  (ページ) … 半分  
 $360 + 360 = 720$  (ページ) … 3冊の合計  
 $720 - 234 - 280 = 206$  (ページ)

2 (1) よこぜん横全体の長さから考える。  
 図の①が  $2 + 1 = 3$  (cm) のとき、横全体の長さは  $5 + 3 + 4 = 12$  (cm) で、残りの4つの正方形は6, 7, 8, 9cmで長さの合計が合わない。同じく  $3 + 1 = 4$  (cm) のとき、横全体の長さは  $7 + 4 + 5 = 16$  (cm) で、残りの4つの正方形は2, 6, 8, 9cmで長さの合計が合わない。 $3 + 2 = 5$  (cm) のとき、横全体の長さは  $8 + 5 + 7 = 20$  (cm) で、残りの4つの正方形は1, 4, 6, 9cmで長さの合計が20cmでこれは正しい。よって、② =  $7 + 9 = 16$  (cm)。なお、①が  $4 + 1 = 5$  (cm) のときも、横全体の長さは  $9 + 5 + 6 = 20$  (cm) で、残る4つの正方形は2, 3, 7, 8cmで長さの合計は20cmになるが、右上の正方形の1辺が7cmになりおかしい。

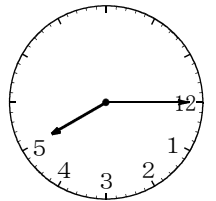


(2) (1)より、たてが16cm、横が20cmで、  
 $16 + 20 = 36$  (cm)     $36 + 36 = 72$  (cm)

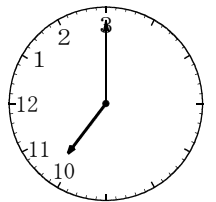
3 (1)  $1600 - 700 = 900$  (円)  
 $5 - 2 = 3$  (つ)    ケーキ3つで900円。  
 $900 = 300 \times 3$   
 よって、ケーキ1つは300円。  
 $700 = 300 + 300 + 100$  で、  
 かざりは100円。  $300 + 100 = 400$  (円)

(2)  $2500 - 100 = 2400$  (円)  
 $2400 = 300 \times 8$     よって、8つ。

4 (1) 長針の場所に12と書き、そのままそれ以外の数を順番に書くとよい。  
 図より、5時0分。



(2) 短針が10と11の間になるように書き、そのままそれ以外の数を順番に書くとよい。  
 図より、 $5 \times 3 = 15$  (分)

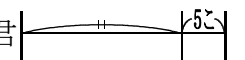


5 (1)  $3 + 2 = 5$  (才)  
 $5 \times 3 = 15$  (才) … 2年後のあけみさん  
 $15 - 2 = 13$  (才)

(2)  $3 + 3 = 6$  (才)     $13 + 3 = 16$  (才)  
 $16 - 6 = 10$  (才) … 3年後のかなめさん  
 $10 - 3 = 7$  (才)

6 (1) あつき君がかずや君に半分わたすと、あつき君の残りのビー玉と、あつき君からかずや君にわたしたビー玉のこ数が同じなので、2人の差はもともとかずや君が持っていた分のビー玉となる。  
 よって、18こ。

(2)  $18 = 9 \times 2$  より、かずや君がさとし君にわたすビー玉は9こ。ビー玉を9こもらうとさとし君があつき君より4こ多くなるので、もともとの差は  $9 - 4 = 5$  (こ) とわかる。

右の図より、  
 $85 - 18 = 67$  (こ)    あつき君  さとし君  
 $67 - 5 = 62$  (こ)  
 $62 = 31 + 31$  より、さとし君は31こ。

(配点) 1 ; 各5点×12    他 ; 各4点×10